

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 テルモ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 高橋 晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報室長 (氏名) 羽田野 彰士

TEL 03-3217-6550

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	77,467	△0.4	16,476	1.4	16,934	△10.2	10,812	△22.9
21年3月期第1四半期	77,771	—	16,241	—	18,852	—	14,016	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	56.94	—
21年3月期第1四半期	72.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	389,765	292,402	75.0	1,539.15
21年3月期	379,064	278,166	73.4	1,464.27

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 292,282百万円 21年3月期 278,062百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	154,000	△1.9	28,000	△11.0	28,000	△14.7	18,000	△21.7	94.79
連結累計期間	315,000	4.0	56,000	3.6	56,000	6.5	37,500	1.7	197.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(第2四半期想定レート; 1ドル=90円・1ユーロ=120円、年間想定レート; 1ドル=95円・1ユーロ=125円)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 210,876,260株 21年3月期 210,876,260株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 20,978,222株 21年3月期 20,977,618株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 189,898,253株 21年3月期第1四半期 193,928,776株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月13日に公表致しました第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
3. 株式数の変動により、第2四半期連結累計期間および、通期の1株当たり当期純利益を変更しております。

【 定性的情報・財務諸表等 】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における世界情勢は、昨年秋に発生した金融危機の影響で、グローバル規模での景気悪化や雇用不安など、非常に不安定な状況が続いています。医療機器市場においても、当社の主力である、日々使用される商品の需要こそほぼ正常に戻ったものの、大型機器については、依然として一部購入の先送りが認められます。また、財政基盤の弱い新興国の中には、医療費抑制の動きが見られるところも出てきました。一方、日本では、公立病院を中心に多くの病院が慢性的な赤字経営に苦しんでおり、医療の質の低下や病院の統廃合が社会問題化しているなど、国内外ともに大変厳しい市場状況となっています。

2008年4月にスタートさせました3ケ年の中期経営計画「Phoenix2010」では、医療経済性の向上につながる戦略をすすめてきましたが、このような市場変化で、医療経済性に対するニーズはさらに高まっており、当四半期についてもこれらの取り組みを継続して推進してきました。その結果、国内・海外ともに現地通貨ベースで堅実に売上を拡大させることができました。最終的な業績については、昨年同期と比較しての大幅な円高の影響で、売上高・経常利益・純利益は前年を下回りましたが、営業利益は円高を吸収し増益となりました。

当第1四半期の業績は次のとおりです。

<売上高>

連結売上高は、国内は7.3%、海外は現地通貨ベースで6.6%の伸長となりましたが、最終的には円高の影響を受け、0.4%減の775億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第1四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	伸長率	為替影響除く 伸長率
日本	39,912	42,820	7.3%	7.3%
欧州	15,987	13,406	△16.1%	4.7%
米州	13,943	13,711	△1.7%	6.0%
アジア他	7,928	7,529	△5.0%	11.3%
海外計	37,858	34,647	△8.5%	6.6%
合計	77,771	77,467	△0.4%	7.0%

国内では、プレフィルドシリンジ(注射器に予め充填した薬剤)の売上が大きく拡大しました。昨年春に予防的措置として自主回収しましたへパフラッシュの業績が徐々に回復、5月に発売した協和発酵キリン向けの新商品も寄与しました。また、心臓・血管領域の多くの商品が高い伸長を示し、4月より自販を開始した人工血管も順調に売上を伸ばしました。その他、新型インフルエンザの影響で電子体温計の販売が大幅に増加しました。

海外については、現地通貨ベースで引き続き売上を堅調に伸ばしました。特にアジアは、中国・タイが好調で二桁伸長となりましたが、欧州、米州については新興国における大型機器の新規購入の先送りなどがマイナス要因となり一桁の伸長に留まりました。

商品群別

(単位：百万円)

事業の種類別の セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	伸長率	為替影響除く 伸長率
ホスピタル商品群	37,200	36,643	△1.5%	1.9%
心臓・血管領域商品群	33,108	33,279	0.5%	11.8%
輸血関連商品群	6,232	5,651	△9.3%	△0.3%
ヘルスケア商品群	1,230	1,892	53.8%	58.0%
合計	77,771	77,467	△0.4%	7.0%

心臓・血管領域商品群が、カテーテル商品を中心に国内外で大きく売上を伸ばしたことから、円高の影響をカバーし前年同期比でプラス伸長となりました。また、ヘルスケア商品群も電子体温計の売上増に加え、血圧計の新商品も好調に推移し、前年同期の売上を大幅に上回りました。

一方、ホスピタル商品群は、国内で医薬品の売上が好調だったものの、海外売上は現地通貨ベースでほぼ横ばいとなり、わずかに前年同期の売上を下回りました。海外の売上比率が大きい輸血関連商品群は、円高の影響を大きく受け、マイナス伸長となりました。

<粗利益・営業利益>

粗利益については、高収益品へのシフト、コストダウン等を継続的に実施しましたが、円高の影響が大きく、粗利益率は昨年同期比0.7ポイント悪化の53.6%となりました。販管費は退職給付費用が増加したほか、将来展開のための研究開発費を積極的に投下しましたが、経費全体を効率的に運用することにより、販管費率を1.1ポイント改善させました。

この結果、営業利益は、昨年同期比1.4%増の165億円となりました。

<経常利益>

営業外で為替差益が19億円縮小したことなどから、前年同期比で10.2%減の169億円となりました。

<四半期純利益>

前年は、海外子会社受取配当金による影響などで税額が少なかったことから、前年同期比で22.9%減の108億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ107億円増加して3,898億円となりました。

流動資産は52億円増加して1,988億円となりました。現金及び預金が27億円、受取手形および売掛金が23億円、たな卸資産が18億円増加、また繰延税金資産が18億円減少しました。

固定資産は55億円増加して1,910億円となりました。有形固定資産は主に建設仮勘定により18億円増加しました。無形固定資産は7億円減少しました。また、投資その他の資産は時価評価により投資有価証券が75億円増加、これにより繰延税金資産が32億円減少、全体では44億円増加となりました。

負債の部は35億円減少し974億円となりました。

流動負債は39億円減少して898億円となりました。短期借入金の返済21億円を行なっております。

固定負債は4億円増加して76億円となりました。

純資産の部は、142億円増加して2,924億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.6ポイント増加し、75.0%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、為替の動向、医療機器市場への金融危機後の影響も不透明な状況ですが、第2四半期の想定レートを1ドル=90円、1ユーロ=120円に変更するとともに、第2四半期連結累計期間の連結業績予想を見直すこととしました。なお、通期の見通しについては変更しておりません。

当社グループは、この厳しい事業環境に対応するため、医療経済性の向上に貢献できる高付加価値品の導入、海外生産の拡大や徹底した販管費の効率運用を継続し、強固な経営基盤の構築に努めてまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2) 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,760	57,073
受取手形及び売掛金	69,202	66,865
商品及び製品	34,220	33,272
仕掛品	6,266	6,373
原材料及び貯蔵品	15,898	14,945
繰延税金資産	7,870	9,687
その他	6,301	6,173
貸倒引当金	△707	△733
流動資産合計	198,812	193,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,594	41,545
機械装置及び運搬具（純額）	33,076	33,067
土地	20,292	20,303
リース資産（純額）	582	548
建設仮勘定	10,318	8,584
その他（純額）	7,048	7,015
有形固定資産合計	112,914	111,064
無形固定資産		
のれん	24,730	26,823
その他	7,291	5,923
無形固定資産合計	32,022	32,747
投資その他の資産		
投資有価証券	31,233	23,686
繰延税金資産	8,330	11,528
その他	6,453	6,378
投資その他の資産合計	46,017	41,593
固定資産合計	190,953	185,406
資産合計	389,765	379,064

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,320	27,812
短期借入金	23,090	25,190
リース債務	176	161
未払法人税等	5,269	6,022
賞与引当金	2,592	4,758
役員賞与引当金	47	172
繰延税金負債	252	173
設備関係支払手形及び未払金	6,619	5,605
その他	25,423	23,804
流動負債合計	89,792	93,700
固定負債		
リース債務	427	409
繰延税金負債	30	103
退職給付引当金	4,114	3,691
役員退職慰労引当金	659	659
その他	2,339	2,331
固定負債合計	7,570	7,196
負債合計	97,363	100,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	59,030	59,030
利益剰余金	289,832	282,058
自己株式	△76,802	△76,800
株主資本合計	310,776	303,005
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△602	△5,118
為替換算調整勘定	△17,891	△19,823
評価・換算差額等合計	△18,494	△24,942
少数株主持分	120	104
純資産合計	292,402	278,166
負債純資産合計	389,765	379,064

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	77,771	77,467
売上原価	35,516	35,928
売上総利益	42,255	41,539
販売費及び一般管理費	26,013	25,062
営業利益	16,241	16,476
営業外収益		
受取利息	399	142
受取配当金	178	42
受取ロイヤリティー	30	40
為替差益	2,206	325
持分法による投資利益	19	39
その他	224	120
営業外収益合計	3,060	711
営業外費用		
支払利息	97	45
売上割引	141	146
たな卸資産処分損	18	41
その他	192	20
営業外費用合計	449	253
経常利益	18,852	16,934
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	80	—
貸倒引当金戻入額	—	0
特別利益合計	81	1
特別損失		
固定資産処分損	5	2
特別損失合計	5	2
税金等調整前四半期純利益	18,927	16,933
法人税、住民税及び事業税	5,208	4,081
法人税等調整額	△302	2,027
法人税等合計	4,906	6,108
少数株主利益	5	11
四半期純利益	14,016	10,812

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,927	16,933
減価償却費	4,129	4,010
のれん償却額	512	471
持分法による投資損益(△は益)	△19	△39
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△189	392
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26	△31
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△142	△125
受取利息及び受取配当金	△578	△184
支払利息	97	45
為替差損益(△は益)	△230	13
固定資産処分損益(△は益)	5	2
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△80	—
売上債権の増減額(△は増加)	177	△1,828
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,774	△1,269
仕入債務の増減額(△は減少)	△115	△1,563
その他	△6,720	64
小計	13,024	16,889
利息及び配当金の受取額	714	346
利息の支払額	△151	△48
法人税等の支払額	△16,276	△5,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,689	11,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,490	△8,745
定期預金の払戻による収入	512	2,239
有形固定資産の取得による支出	△3,560	△4,142
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△305	△264
投資有価証券の取得による支出	△0	△106
投資有価証券の売却による収入	580	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,286	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,548	△11,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△15,000	△2,100
自己株式の取得による支出	△7	△2
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△47
配当金の支払額	△3,490	△3,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,498	△5,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,064	955
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,671	△3,739
現金及び現金同等物の期首残高	85,377	55,067
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,706	51,328

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	ホスピタル 商品群	心臓・血管 領域商品群	輸血関連 商品群	ヘルスケア 商品群	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	37,200	33,108	6,232	1,230	77,771	—	77,771
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	37,200	33,108	6,232	1,230	77,771	—	77,771
営 業 利 益	8,275	9,801	1,067	42	19,186	△2,945	16,241

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	ホスピタル 商品群	心臓・血管 領域商品群	輸血関連 商品群	ヘルスケア 商品群	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	36,643	33,279	5,651	1,892	77,467	—	77,467
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	36,643	33,279	5,651	1,892	77,467	—	77,467
営 業 利 益	8,607	9,830	843	333	19,614	△3,138	16,476

(注) 1. 各事業区分の主な製品

事業区分	売上区分	主要製品
ホスピタル 商品群	ホスピタル医療器	シリンジ(注射筒)、注射針、輸液セット、静脈留置針、 真空採血管、輸液ポンプ、シリンジポンプ 他
	医薬品類	輸液剤、高カロリー輸液剤、プレフィルドシリンジ、栄養食品 他
	腹膜透析関連	腹膜透析システム
	糖尿病関連	血糖測定システム
	在宅医療関連	在宅輸液システム、酸素濃縮器 他
心臓・血管 領域商品群	カテーテル システム	血管造影用カテーテル、PTCA用バルーンカテーテル、 コロナリースtent、脳動脈瘤治療用コイル 他
	人工心肺システム	人工肺、体外循環システム 他
	人工血管	人工血管
輸血関連商品群	輸血関連	血液バッグ、血液自動製剤システム 他
ヘルスケア商品群	ヘルスケア商品	家庭用電子体温計、家庭用電子血圧計、血糖測定システム(OTC市場) 他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	39,924	15,987	13,943	7,916	77,771	—	77,771
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,728	793	1,620	3,422	17,564	△17,564	—
計	51,653	16,780	15,563	11,338	95,336	△17,564	77,771
営業利益	14,015	2,440	837	1,916	19,210	△2,969	16,241

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	42,822	13,406	13,711	7,527	77,467	—	77,467
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,746	1,150	1,520	3,698	18,116	△18,116	—
計	54,568	14,556	15,232	11,225	95,584	△18,116	77,467
営業利益	14,374	2,452	883	2,099	19,810	△3,334	16,476

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域 ・ ・ ・ 欧州:ベルギー、イギリス、ドイツ等
米州:アメリカ、カナダ、メキシコ等
アジア他:UAE、オーストラリア、タイ等

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位：百万円)

	欧 州	米 州	アジア他	計
I. 海外売上高	15,987	13,943	7,928	37,858
II. 連結売上高				77,771
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	20.6%	17.9%	10.2%	48.7%

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

	欧 州	米 州	アジア他	計
I. 海外売上高	13,406	13,711	7,529	34,647
II. 連結売上高				77,467
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	17.3%	17.7%	9.7%	44.7%

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧 州：ドイツ、フランス、イタリア等

米 州：アメリカ、カナダ、メキシコ等

アジア他：オーストラリア、タイ、台湾等

(注) 2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

 **TERUMO[®]**

人にやさしい医療へ